経営の基本方針・経営の中長期的方向性

当社グループは、長期的な視点でめざすありたい姿である「経営理念」およびそれを実現するための 経営ビジョン・行動指針から構成される「経営の基本方針」を定めています。

また、経営理念実現に向けたマイルストーンとして「10年後のありたい姿」(詳細は P.9~10)を定めており、 その達成に向けてどのような企業であるべきか、どのような変革が必要かを 示したものが「経営の中長期的方向性」です。

「10年後のありたい姿」の達成に向けて、マテリアリティへの取り組みや データ・デジタル技術の活用などによる「SX / DX | と、最適なポートフォリオの実現をめざす 「事業ポートフォリオ変革 | を有機的に融合させ、CXを推進していきます。

経営の基本方針

経営理念

~長期的な視点でめざすありたい姿~

わたしたちは、アセットの潜在力を最大限に引き出し 社会価値を創出することで、持続可能で豊かな未来に貢献します。

経営ビジョン

~ありたい姿を実現するためにめざすべきもの~

- 地球環境に配慮し、独自性と進取性のある事業を展開することで、社会的課題を解決します。
- ●世界各地の多様なステークホルダーとの価値共創を通じて、持続可能な成長をめざします。
- デジタル技術とデータの活用によりビジネスモデルを進化させ、企業価値の向上を図ります。
- 社員一人ひとりが働きがいと誇りを持ち、自由闊達で魅力ある企業文化を醸成します。
- ●法令等を遵守し、健全な企業経営を実践することで、社会で信頼される企業をめざします。

行動指針

~社員一人ひとりが"持つべき価値観・心構え""取るべき行動"~

チャレンジ 未来志向で、責任を持って挑戦する。

デジタル デジタルリテラシーを高め、変革を創り出す。

コミュニケーション 対話を通じて相互理解を深め、社内外のステークホルダーと信頼関係を築く。

ダイバーシティ 多様性を受容し、相互に尊重する。

サステナビリティ 人・社会・地球と共生し、持続可能な世界を実現する。

インテグリティ 高い倫理観を持ち、絶えず基本に立ち返る。 10年後のありたい姿

経営の中長期的方向性



CX: Corporate Transformation

SX / DX

SX(Sustainability Transformation)

マテリアリティ(重要課題)への取り組みや強固な経営 基盤を通じ「環境価値・社会価値との共存・共栄」と 「持続可能な成長 | を実現する。

- 2 持続可能な成長を支える強靭な 経営基盤強化戦略
- ⑤ ステークホルダーとの信頼関係構築 (エンゲージメント向上)

DX(Digital Transformation)

"顧客起点"と"未来志向"でデータ・デジタル技術の 活用と戦略的投資の実行による「顧客価値の"新たな 創造"や"質的向上"」を実現する。

- DX人材の養成・獲得 ② DX体制の基盤構築
- ⑤ 攻めの DX 体制構築 ∅ 新事業開発

事業ポートフォリオ変革

ポートフォリオマネジメント

将来的にも企業価値向上に貢献しないビジネスから の撤退を果断に進めるとともに、事業ポートフォリオ の最適化を図ることで、持続可能な成長と中長期的 な企業価値の向上を果たす。

- 中長期視点で事業のあり方を徹底的に見直し、経営 資源の戦略的配分により新規投資を推進する。
- 資本コストを認識した経営管理を進化させ、中長 期的なリターンを創出する。
- •経営資源(資本・資金・人材など)の有限性を意識 した上で、「バランスシートの最適化」により資本 効率を追求する。

ビジネスモデルの進化・積層化

- 既存ビジネスの収益力強化と効率化
- Ⅲ 既存ビジネスから高付加価値サービスへの シフト
- ─ 新ビジネスの「開発」



経営の中長期的方向性

https://www.mitsubishi-hc-capital.com/corporate/direction/index.html